

「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園整備事業」の事前評価調書(案)に対する
市民からのご意見の内容とご意見に対する横浜市の考え方

○横浜市公共事業評価事前評価における市民意見

募集期間 令和4年8月1日～8月31日

市民意見 30通

いただいたご意見と、ご指摘に対する横浜市の見解を、次のとおりまとめました。

また、お寄せいただいたご意見及び横浜市公共事業評価委員会の審議結果を踏まえ、事前評価調書の一部を修正し、確定しました。

なお、お寄せいただいたご意見については、原則、原文そのままを掲載しています。

○お寄せいただいたご意見と横浜市の見解

No.	ご意見	ご意見に対する横浜市の考え方
1	「医療施設の充実」 花博やテーマパーク、スポーツ施設、地域の祭りイベント等に使用できる施設は必要で有り、瀬谷にそれらが出来ることは大変喜ばしいことです。ただ人が集まったりスポーツをすれば有って欲しくはない事です、ケガ人や病人が出ることの可能性が大いに有る。広い土地が有るから医療施設を作る計画が有ればいいのですが、なければ是非計画を造って下さい。又瀬谷は大きな医療病院が少ない。マリアンナ旭中央病院(旭区)国際親善(泉区)でも受け入れが大変の様。災害時の避難地や防災機能地にする計画や上瀬谷開発で人口が増えることを期待する中、医療施設の充実が必要と思う。瀬谷住民も高齢化が進んでいる中、近くに良い病院が欲しいと思っています。是非ともご検討下さい。期待しています。	いただいたご意見については、計画に対するご期待と捉え、着実に公園整備を進めていきます。 医療施設の充実に関するご意見については、関係部署に情報提供します。
2	計画地内は横浜市内でも有数のまとまった農地であること、また計画地の南東側にも豊かな森が広がっていることは、他の地域から差別化できる極めて貴重な特徴です。横浜市として地球温暖化対策を	公園については、上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園として整備する方針です。また、大規模な土地の改変を行わず、現

	<p>積極的に推進していく観点から考えると、この地域の自然を破壊し大規模開発を行うことは適切ではないと考えます。大勢の人を呼び込むことを期待して花博やテーマパークを作るのは、かえって当該地域の貴重な特性を潰してしまうことになりかねません。開発は必要最低限のインフラ整備に留め、現在ある自然を最大限活かし、人が来ない事を逆手に取った、上瀬谷でしかできない土地活用の方法を再考すべきです。花博やテーマパークは上瀬谷以外でもできることであり、（寧ろ、他地域で開催する方が容易）自然破壊してまで行う意味は無いと考えます。</p>	<p>況地形をいかした整備計画としています。</p> <p>まちづくり全体に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>
3	<p>土地区画整理による自然破壊については別の意見募集に譲り、花博、公園利用に対して意見する。</p> <p><花博を行う意義></p> <p>米軍施設跡地の平和的利用の象徴とされているが、花博をしなければならないほど日本は軍事国家と見なされているのか。そもそも桜並木が平和を願って植樹されたのにそれを伐採してしまうのも理念と不整合である。</p> <p><交通インフラについて></p> <p>上瀬谷ラインは今の計画では盲腸線で、公園・テーマパークが破綻した場合に持続的な経営が難しい。本当に必要かどうかも含めて再検討が必要。その他アクセスも、現地の駐車場 3000 台、パークアンドライド(P&R)の駐車場 2000 台としており、一方ピーク時の来場(車)予測が 13470 台とオーバーしているのを回転率の良さでこじつけようとしている。特に P&R は 10km ほど離れるため回転率は上がらない。</p> <p>徒歩利用については来場予測の 4%程度で</p>	<p>いただいたご意見については、関係部署及び 2027 国際園芸博覧会協会に情報提供します。</p>

<p>ある。つまり殆どは自家用車、シャトルバス（上記 P&R に加え近隣駅から走る）、休日は大型バスが加わるとなると、狙い通り人気の花博になったら、近隣は（246、保土ヶ谷 BP 含め）交通渋滞に巻き込まれ CS 低下、近隣住民の QOL に大影響が出ることは必至である。開催中のアルメーレや 2023 年のカタールのような住民のいない埋立地とは違い、上瀬谷は内陸で既に普通に生活している住民がいる土地であることを考慮していない。</p> <p>そのような中、市会ではレンタサイクル案も出ていたが、海軍道路瀬谷駅側 2km は片側にしか自転車通行帯がない。また周辺駅からの徒歩は、一番近い瀬谷でも 2km（30 分）なので厳しい。</p> <p><入場予測></p> <p>ディズニーランド(TDL)は約 51ha にコロナ禍前で 8~8.5 万人（アトラクション 3~4 時間待ち）。花博は約 80ha に 10 万人を想定している。のべ 1500 万人参加（1000 万人来場）としているが、過去の博覧会とは、人口動態、経済状態、衛生状態（コロナ禍含む）、価値観も変化しており、単純比較できない。赤字による花博の財政破綻が報道されたアルメーレ花博の平日の全入場者はアクセス良好にも関わらず 2000 人程。開国博(Y150)でも同じく後背人口を根拠にしていたが Y150 も失敗していることを忘れていない。2017 年に 72 日間開催した全国都市緑化よこはまフェア（ガーデンネックレス）は来場者 600 万人とされているが、みなとみらいのみなと会場が 567 万人に対し、上瀬谷と同じ位アクセスの悪い、中山駅から 3km の里山ガーデンは 33 万人。さらに本来 15 分程のバスが休日は隣接するズーラシアの影響含め 2 時間程度だった</p>	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>という。ちゃっかり 1000 万人来場に計画を下方修正しているが、損益分岐点が目標値となるのはイベントとして致命的である。</p> <p><資金計画></p> <p>会場建設費 320 億円こそ国・市・民間で等分とのことだが、土地区画整理事業は国庫負担はないし、花博運営も国庫からの補填はない。Y150 の赤字は市民負担 100 億円となり、災害用基金を約 87 億円取り崩した。横浜市は 2021 年度末の財政調整資金の実質残高が約 92 億円と他の大都市と比べても著しく低く、赤字を出している余裕はない。一方有料参加者の根拠のなかに「ボランティア等の来場者」が含まれているが、ボランティア参加するのにお金を徴集するのか。むしろ対価を払うべきではないか。</p> <p><花博の後></p> <p>サウンディング調査が行われているが、テーマパークありきで進められている。テーマパークは新しいエリアを作っていないと飽きられ評価されない。TDR や USJ は埋立地であることを生かし新エリアを広げることができるが、内陸の上瀬谷はそう簡単にはいかない。上述の通りアクセスも悪い。</p> <p>ゾーニングについてはまちづくり協議会と市が検討し、市民意見に沿ったものとされているが、公用地まで協議会主導で決定するのはおかしい。市は、基本的には国有地は公園になるから問題ないとの見解のようだが、実際は物流エリアは殆どが国有地、観光・賑わいエリアも公用地が半分であり、市の見解は事実と異なっている。跡地利用は公共性を重視するというのであれば、テーマパークではなく、市民からの要望も多い医療・福祉・</p>	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

	<p>子育て支援施設のほうが公共性が高いと思われる。肥沃な農地も土壌を入れ替えまるで宅地化するかのようだが、もし宅地にするなら例えば市営住宅にするほうがよほど公共性が高いと思われる。</p>	
4	<p>・花博はじめその後のテーマパークにしても軌道系交通機関なしで対応できるのか？(バスの運転手不足・大渋滞)</p> <p>・「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」</p> <p>P1 他のイラストにはLRTらしきものが想定されているが、なぜ新交通に化けたのか？</p> <p>・新交通では工事期間・費用等が折り合わず見込みが立たなくなったが、LRTならまだぎりぎり間に合うのではないか？</p> <p>・LRTなら今後の輸送量増や延伸などにも容易に対応でき、若葉台等軌道系交通空白地帯を埋められるのでは？</p> <p>・工事が間に合わないからと言ってSDGsの時代に「花」博を自動車交通中心で検討するのは愚の骨頂。世界の笑い者になる。ついでに言えば国民の多くがテーマパークに今更感を感じている。いつまで80年代を引きずるのか？</p>	<p>いただいたご意見については、関係部署及び2027国際園芸博覧会協会に情報提供します。</p>
5	<p>図を見る限り、とても現況の自然環境が残された公園づくりとは思えません。</p> <p>相沢川はどこへいったのか。</p> <p>田んぼはどこへいったのか。</p> <p>・相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出に取り組みます。</p> <p>とはこの図を見る限り嘘っぱちですね。</p> <p>海軍道路桜並木を、たった50年管理できないで全伐採する予定なのに、また、桜を植えるのですか？</p> <p>「上瀬谷通信施設跡地」には無かった桜を植えて、何が現状保全ですか。</p>	<p>上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。現況の自然環境の保全については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討し</p>

	<p>こんな計画しか横浜市は立てられないのですか？恥ずかしい。500億もかけるのですから、もっとい「今の自然」を残したものにしてください</p>	<p>ていきます。</p> <p>また、公園内の桜については、健全な生育環境を確保するとともに、公園が新たな桜の名所となるよう引き続き検討していきます。</p>
6	<p>里山ガーデンとか日本庭園とか、のような人工的な公園ではなく、もっと自然近い形の公園が上瀬谷にはふさわしいと思います。</p> <p>提案① 相沢川を生かし、里山を残す。川のある公園は、他にはない。上瀬谷ならではの魅力のある公園になります。</p> <p>提案② 野生の植物園を作る。カタツムリの星、エビネ、イチリンソウ、シュンラン、竹林等の植物園は他ではできない企画で、新しい名所になると思います。</p> <p>③ サクラ広場について。桜だけでなく、多種類の樹木、それも本来の植生を再生するような植林を希望します。宴会広場ではない、市民のための特に子供達のためになる公園を是非お願いします。</p>	<p>相沢川については、谷戸地形をいかした生物の生息生育環境の保全・創出に取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。</p> <p>また、公園の既存樹木については、できる限り活用することを基本方針としています。</p> <p>公園内の植栽やその他のご意見については、今後設計等を進めるうえで参考とさせていただきます。</p>
7	<p>図からは、P. 5「環境への配慮」にある相沢川の谷戸地形など環境をいかした生物の生息生育環境の具体像がわかりません。すべて花博のためにならしてしまうように見えますが、それはやめてください。8/28 噂の東京マガジンを見ましたが、桜並木の保全が先です。新たな桜の公園をつくるより今ある桜並木を保全した公園にしてください。球場の位置も、今ある球場を生かしてはどうですか。たった200人のまちづくり協議会の意見のみではなく、こういう意見も取り入れた、100年先を見すえたまちづくりにして下さい。横浜市のこの公園整備計画、このままでは反対です。どうかより良く自然が残るよう考えて見通して下さい。</p>	<p>上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。現況の自然環境の保全や生物の生息生育環境の保全・創出については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p> <p>また、公園内に整備する野球場については、現状を踏まえた配置としました。</p>

		海軍道路の桜並木に関するご意見については、関係部署と共有するとともに、公園が新たな桜の名所となるよう引き続き検討していきます。
8	<p>家族と噂の東京マガジンを見ました。公園の基本計画図も見ました。桜を切っても、新しく公園に桜も植えるって、おかしいと思います。今ある平和の祈りで植えられた桜を守ってほしい。テーマパークはムリだと思うので、全部公園で残して欲しいです。</p> <p>基本計画図は「変更になる可能性もある」とあるので、ぜひ計画をみなおして、桜並木は残してください、山中市長。</p>	海軍道路の桜並木に関するご意見については、関係部署と共有するとともに、公園が新たな桜の名所となるよう引き続き検討していきます。
9	<p>基本計画図拝見。環境影響評価審査会審議の資料も見た。資料2頁の図では、ホトケドジョウなどが生息できる環境がどこにあるのかわからなかったし、土地区画整理事業では、相沢川は暗きょ化されるのではないだろうか。そのような公園整備には反対と言わざるを得ない。</p> <p>そもそも花博のために桜を伐ることは言語同断。1500万人も訪れるわけがない(花博見直しは、博覧会協会へも申し入れた)。花博ありきではない、噂の東京マガジンで見たような豊かな自然を生かして残した公園整備事業を強く希望する(この案では納得いかない)。「壊す」こと「今だけ」ではなく、横浜市旭区に暮らすものとして、まちづくり協議会だけではなく広く市民の意見をきいて欲しいと切に願う。人工の桜広場の管理が心配される。並木を生かすほうが良くないか。</p>	<p>上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。現況の自然環境の保全や生物の生息生育環境の保全・創出については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p> <p>海軍道路の桜並木に関するご意見については、関係部署と共有するとともに、公園が新たな桜の名所となるよう引き続き検討していきます。</p> <p>まちづくり全体に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>
10	・ドッグラン、スポーツ、アウトドア、花壇、お庭など、人間のための施設・設備を敷地いっぱいぎゅうぎゅうに作ら	上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とす

	<p>れるようですが、この計画ですと いま草地に暮らし繁殖している草原性のいきもの（たとえばヒバリやセッカなどの鳥）は”排除”されてしまいそうです。草原性のいきものは森では生きていきません。広大な敷地を全部人間が使うあさましい計画ではなく、もの言えぬ小さな生きものたちのためのサンクチュアリを設けるなど、余裕をもった計画をお願いいたします。</p> <p>・花壇や庭園は外来種ではなく、在来種や日本の固有種を大切に、希少種や絶滅危惧種を保全できるようご配慮をお願いいたします。</p>	<p>るため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。生物の生息生育環境の保全・創出については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p> <p>また、花壇や庭園に関するご意見については、今後設計等を進めるうえで参考とさせていただきます。</p>
11	<p>旧上瀬谷通信施設跡地の東側を南北に通る道路が計画されていますが道路幅が広い自動車道路ができると野生動物が森と草地を往来できなくなる懸念があります。現在でも森と森を分断する野境道路では狸などの野生生物が事故に遭っています。動物の生活圏の分断はできるだけ避けてください。</p> <p>また公園内の広場を自衛隊が活動できる防災拠点とする計画ですが、防災拠点と自然保護は両立しません。災害時の防災拠点や救急医療施設は跡地北側、八王子街道近くに設置してほしいと思います。</p> <p>公園に緑や花があればいいというものではありません。人が使いやすいように土地の改変をするのではなく、共生という視点でいかに残していくか考慮してください。宜しく願い致します。</p>	<p>上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。現況の自然環境の保全や生物の生息生育環境の保全・創出については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p> <p>また、災害時の具体的な利用については、関係部署と協議し、検討していきます。</p> <p>道路計画や土地利用に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>
12	<p>事業内容について</p> <p>旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業は、「横浜市中期4か年計画 2018～2021」の戦略4『人が、企業が集い躍動するま</p>	<p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただくとともに、関係部署に情報提供します。</p>

	<p>ちづくり』～誰もが『住みたい』『住み続けたい』と思える郊外部～」に位置づけられています。【地区内人口】が「居住人口は計画しません。」となっているのは、戦略4の趣旨に沿わないものと言えます。街に住む人がいなければ、街を愛するひとのいないゴーストタウンになります。人のいない公園ではなく、人のいる公園を造れば、ゴーストタウン化は防げます。人のいる公園とは「人が住む公園」であり、公園の中にある都市、緑地と融合した都市「グリーンシティ」です。広域公園ではなく公園都市を作る必要があります。土地区画整理区域内に予定されているテーマパークのテーマを「グリーンシティ」にすれば、公園とテーマパークを一体化して広大な公園都市を造れます。</p>	
13	<p>横浜市の食糧自給率の向上に少しでも寄与できるような農地としての役割を失わないようにして下さい。</p>	<p>まちづくり全体に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p> <p>なお、公園内については、農体験ができる場を創出するなど、上瀬谷の農と持続可能なライフスタイルが融合し実践する公園として、地産地消や収穫体験、食育など農に関するプログラムなどを提供していく方針です。</p>
14	<p>「桜の再生と新たな名所づくり」と「サクラ広場と桜並木」を公園のシンボルとする基本計画（案）に賛成します。しかし、利用者の安全に関する記述が無くて不安です。</p> <p>不安の理由は、花博後半は真夏の開催だからです。来場者数は1日数万人～約10万人と見込まれますが、強い日差し、急な雷雨、雹などに対処する施策が示されていません。</p> <p>私案ですが、『避雷設備を設け、飲食・物販施設以外に桜並木を快適に散策できる</p>	<p>いただいたご意見については、計画に対するご期待と捉え、着実に公園整備を進めていくとともに、利用者の安全に関するご意見については、今後設計等を進めるうえで参考とさせていただきます。</p> <p>国際園芸博覧会に関するご意見については、2027国際園芸博覧会協会に情報提供します。</p>

	<p>「広い屋根付き散策路」を園内に巡らし、休憩用の椅子を多数設置する』という策を講じれば、「安心して桜を楽しめる公園」として認知され、人は集まり続けると信じています。</p>	
15	<p>事業目的について</p> <p>「郊外の新たな活性化拠点として、豊かな自然をいかしたレクリエーション空間などの人が集い、交流する場の創出」と「大規模災害発生時における広域的な応援活動の拠点を形成」が目的に挙げられていますが、旧深谷通信所（訳 77ha）も同様の目的を持っています。上瀬谷独自の目的には「園芸博のレガシーを継承する拠点」の形成があります。園芸博では緑と都市が融合した「グリーンシティ」がテーマになっています。少子高齢化や地球温暖化の問題を解決するには、ハイテク技術、AI やロボットの活用が不可欠で、これらを有効に使う Society5.0 の社会を実現する必要があります。研究学園都市等をグリーンシティとして形成することは、園芸博の趣旨にも合います。日本の未来社会 Society5.0 の時代のSDGs 都市を公園都市として作り、「新たな文明開化」を開始することも目的にすべきです。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただくとともに、関係部署に情報提供します。</p>
16	<p>必要性について</p> <p>「郊外部の新たな活性化拠点として、豊かな自然をいかしたレクリエーション空間などの人が集い、交流する場の創出」が必要性とされています。一方、約 400 億円の事業費で整備予定の旧深谷通信所（約 77ha）は、災害時に広域的な防災拠点として利用できる防災機能の充実を図るとともに、豊かな自然環境を創出し、市民の活動拠点となる広場や多様な市民ニーズに応えるスポーツ施設等を備え</p>	<p>本公園は自然環境をいかした多様なレクリエーション空間の創出や国際園芸博覧会のレガシーを継承する拠点の形成などを目的とした広域公園です。（仮称）深谷通信所跡地公園とは目的や位置づけが異なりますが、引き続き、それぞれの特性に応じて魅力的な公園となるように整備を進めていきます。</p> <p>まちづくり全体に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>

	<p>た、魅力的な公園の整備を目指すとなっています。上瀬谷と深谷の両地区は類似の目的を持つので、横浜市民にとって重複施設になり投資効果は半減します。</p> <p>旧上瀬谷通信施設跡地は首都圏にとって貴重な土地なので最良の活用方法が求められます。上瀬谷に少子高齢化社会の諸問題を解決する Society5.0 の SDGs 都市を作り、日本の未来を先導する新たな文明開化を横浜から起こす必要があります。</p>	
17	<p>事業の効果のコスト削減の取組について 土地区画整理の総事業費は約766億円で、花博の会場建設に320億円かかります。公園整備事業の総事業費として約555億円の支出が予定されており、総合計で約1,641億円になります。このような巨額の支出は最終的に市民の負担となるので、市民の負担を軽減するために、コスト削減を真剣に行う必要があります。</p> <p>コスト削減の取組として、大規模な土地の改変を行わず、現況地形を活かした整備計画とするほか、園路やインフラ設備、植栽等の整備にあたっては、土地区画整理事業や国際園芸博覧会の会場計画と連携し、効率的な整備に努めると述べています。コスト削減の最善方法は、物流地区に隣接して運動広場、野球場、遊具広場などを作り、公園としては花博のレガシーをそのまま使うことです。残りの土地には Society5.0 時代の SDGs 都市であるグリーンシティを造ります。</p>	<p>本公園は国際園芸博覧会のレガシーの継承・発信拠点として整備する方針です。公園整備にあたっては、土地区画整理事業や国際園芸博覧会の会場整備と連携した効果的な整備を進め、事業費の削減に努めます。</p> <p>まちづくり全体に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>
18	<p>事業の効果・定性的事項について 定性的事項として、「国際園芸博覧会のレガシーの継承・発信拠点」があります。国際園芸博覧会では、約100haの博覧会区域に会場建設費320億円が投じられます。貴重な資金を無駄にしないためには、出</p>	<p>本公園は国際園芸博覧会のレガシーの継承・発信拠点として整備する方針です。公園整備にあたっては、土地区画整理事業や国際園芸博覧会の会場整備と連携した効果的な整備を進め、事業費の削減に努めます。</p>

	<p>来るだけ園芸博の資産をレガシーとして後世に引き継ぐ必要があります。「あをによし、奈良の都は、咲く花の、にほふがごとく、今盛りなり」の平城宮は面積が120haで、観光・賑わいゾーンの125haとほぼ同じ広さです。65haの公園地区を観光・賑わいゾーンと一体化させると、平城宮の1.5倍のレガシー都市ができます。花博のテーマである緑地と都市が融合するグリーンシティにより、横浜に「花が咲いて美しく輝く都市」が生まれます。旧上瀬谷通信施設跡地は隣接して広大な市民の森があるので、緑地を増やす限界効用は小さく、都市と融合する緑地の効用は極めて大きいと考えられます。</p>	<p>まちづくり全体に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>
19	<p>まずは花博（園芸博覧会）の中止を求めます。 開発を急ぐ必要はありません。 長い間手付かずのままだった旧上瀬谷通信施設地区には、手付かずだったからこそその貴重な自然環境が残されています。慎重に進めるべきです。 また、横浜市はみどり税を徴収しているのでなおさら自然環境は残すべきです。そもそも、横浜市は中学校給食を自校式に切り替えることが困難なほど長年財政難のはず。その中で多額の開発費用を注ぐことは得策とは思えません。 安易なイベント開催およびテーマパーク開発はさらなる赤字を呼び込みます。 なぜ財政難の中、開発だけに巨額を投資しようとするのでしょうか。 上瀬谷の土地について、計画の見直しを希望します。</p>	<p>国際園芸博覧会に関するご意見については、2027国際園芸博覧会協会に情報提供します。 公園については、上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園として整備する方針です。また、大規模な土地の改変を行わず、現況地形をいかした整備計画としています。 まちづくり全体に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>
20	<p>公園・防災・農業振興地区に対しては、とても良いことだと思います。 しかし、緑と水と自然を活かした街づくりとしつつ、絶滅危惧種の棲息する場所</p>	<p>いただいたご意見については、計画に対するご期待と捉え、引き続き、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備に取り組むなど、上瀬</p>

	<p>や、小川にコンクリートの蓋をしたり、無理やり流れを変えたり、コンクリートで覆ってしまうのは残念ではありません。豊かな山里を壊して期限付き人工花壇の花博を何故開催しなければならないのでしょうか？</p> <p>まだ寿命のある桜の木を伐採して道路拡張はいかがなものか？桜を伐採せずに道路拡張する方法もあると思います。</p> <p>また、博覧会場用のインフラによって下水などの影響での別の形での自然破壊にもなります。</p> <p>昔からの土壌の汚染も解決していません。</p> <p>ハコモノを作る事だけが開発ではありません。</p> <p>自然を守って、自然と人間の共存が大事なではありませんか？</p> <p>今一度、立ち止まって考え直していただけないか？</p>	<p>谷の水と緑を基調とした公園として整備していきます。</p> <p>国際園芸博覧会に関するご意見については、2027国際園芸博覧会協会に情報提供します。</p> <p>まちづくり全体に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>
21	<p>公園の中に広場が入っていないのには、大きな不満を覚えます。</p> <p>広場はやはり国有地であり、いままで地域の人々や野生生物も利用してきたまさに皆のものだと認識します。公園エリアとつながる自然の大草原地帯を形成する形で自然の草原の状態のまま残してください。広場を観光・賑わいのエリアに入れたからテーマパークに取り込まなければならないのかというと、そうではないと思います。広場では従来もイベントが開かれたり、桜を見に来た人が弁当を食べたりと多くの人が区の内外から訪れていることから、だれもが自由に利用できる観光・賑わいの場として残してくれればいいのではないかと考えます。</p> <p>公園のエリアは自然の草原が連続して続く形で残してください。庭園、ガーデン</p>	<p>上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。現況の自然環境の保全や生物の生息生育環境の保全・創出については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p> <p>道路計画や土地利用に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>

	<p>等、内部に区画があるようですが、壁や柵などで区画をつくらず、草原が連続する形にしてください。野生生物の移動が困難になってしまいます。桜並木や大量の桜の植樹も猛禽類の狩の障害になります。人間のために自然の草原を芝生に変えてしまうようなこともやめてください。昆虫なども減り、ヒバリ、キジ、セッカなど野鳥が営巣できなくなってしまう。歩道も最小限にして、草原地帯のいたるところに歩道を張りめぐらされると大量の人間が草原地帯に入り込み、野鳥などの野生生物が棲めなくなってしまう。建物、人工物も極力ひかえ、つくる場合も猛禽類などの飛翔の障害物にならないよう高さは平屋にしてください。電線も障害物にならないよう地下を通してください。</p> <p>細谷戸ハイツの東側から北へ伸び八王子街道へ抜ける道路は草原地帯保護のため、道路建設自体やめてください。もしくは歩道とするか草原内の部分は地下を通してください。この道路は草原内を2つに分けてしまうことになり、キジをはじめとする野生生物に大きな影響があります。人間にとってもこんなところに道路を通すと、野生生物との追突事故が起きかねません。</p>	
22	<p>防災・減災に資する公園と上瀬谷の「水」と「緑」を基調とした公園は両立するものでない事が既に環境影響評価審査会で指摘されています。大型の車両が出入りする自衛隊の活動拠点が草地広場では足回りが悪すぎますし、生物のすむ草地の環境保全もできません。</p> <p>また被災者が寝とまりする広域避難場所も一緒にできません。</p> <p>いくら公園予定地が 65ha と広大であっ</p>	<p>災害時の具体的な利用については、関係部署と協議し、検討していきます。なお、広域避難場所は、大地震により発生した火災が多発し延焼拡大した場合、市民の皆様がその輻射熱や煙から身を守るための一時的な避難場所であり、寝泊まりは想定していません。</p> <p>本公園は、上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊か</p>

	<p>たとしても、あれもこれもと詰め込んで上瀬谷の豊かな自然が台無しになってしまいます。</p> <p>「首都圏最後の空白」と呼ばれる貴重な土地です。開発は最小限に抑え「何も無い贅沢さ」を協調するのが良いです。</p> <p>相沢川の谷戸に水田を再現、農体験は大門川沿いの農業振興ゾーンとここで行う。公園予定地は限られた人数でのエコツーリズムで自然観察を行えるようにしてください。</p>	<p>な公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。現況の自然環境の保全や生物の生息生育環境の保全・創出については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p> <p>なお、園内には、農体験や自然観察及び環境学習が行える場を整備する方針です。</p>
23	<p>旧上瀬谷通信地区の今後の利用について、以下要望いたします。①希少な生き物を含む、貴重な自然が失われることのないようにしてください。桜並木の伐採も老木を理由にすべて伐採または移植は乱暴です。②国際園芸博覧会については来場者数1000万人が実現する保障がないにも拘わらず、もし実現できなければ、市民負担が増える懸念があります。市民負担増は、許されません。③行列ができるような、過大な計画はやめて、現存する自然を生かし、ゆったりと楽しめる展示にしてください。</p>	<p>上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。現況の自然環境の保全や生物の生息生育環境の保全・創出については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p> <p>海軍道路の桜並木に関するご意見については、関係部署と共有するとともに、公園が新たな桜の名所となるよう引き続き検討していきます。</p> <p>国際園芸博覧会に関するご意見については、2027国際園芸博覧会協会に情報提供します。</p>
24	<p>定性的事項の筆頭に残された自然をいか</p>	<p>上瀬谷の原風景である農景観や、米軍</p>

	<p>すとあります。当地の自然の特色は樹林よりも草地の存在です。長年広大な自然環境が草地という状態で保全されてきたことは大変貴重です。そこには草原性の野生動物（昆虫や鳥類）が現に生息しています。鳥類ではヒバリ、キジ、セッカといった日本を代表する種が生息しています。これらの種は近年広大な草地の消滅とともに激減している鳥類です。</p> <p>樹木を植栽したり、大きな人工物を建造したりすることで、草地の面積が小さくなるとこれらの鳥類の生息が危ぶまれます。</p> <p>また、広い草地は子供が自然環境の原体験をする場として優れています。</p> <p>以上のような理由からできる限り広い草地を保全・管理してください。</p> <p>横浜市内にあっては唯一無二の大草原を保全してください。</p>	<p>施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。現況の自然環境の保全や生物の生息生育環境の保全・創出については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p>
25	<p>早急に計画を見直し、低コストで短期間に市民に開放せよ。</p> <p>全面公用開始が令和24年以降だとか随分と未来になるが、大自然をそのまま公園にすることが市民の希望だったのにどうしてこのような計画になったのか。</p> <p>花博をせず、自然を壊しまくらなければ、もっと早く、もっと早く、もっと自然を生かした公園が作れる。</p> <p>未来の人たちのために、花博も自然破壊も、即刻やめて、防災の拠点のための造成だけに留めた公園に変更すべき。</p> <p>◎スケジュール 最低でも、防災拠点としてはいつから使えるのか示せ。</p> <p>◎事業費 整備費が「精査中」だとかいいかげんすぎる上に、高すぎる。</p>	<p>公園の供用開始については、国際園芸博覧会終了後、令和10年度以降から公園の二次整備に着手し、整備が完了したところから、順次、供用を開始していく考えです。早期に市民の皆様にご利用いただけるよう、整備計画を具体化する中で検討していきます。防災拠点としての活用についても、関係部署と協議を進めます。</p> <p>また、総事業費については、整備費の内訳の精査中としていた部分を更新しました。引き続き、関連事業と連携した効果的な整備を進めるとともに、公民連携手法を積極的に取り入れ、民間活力の導入をするなど、事業費の縮減に努めます。公園の既存樹木については、できる限り活用することを基本方針としています。上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残さ</p>

	<p>約 355 億円のうち、市費負担は精査中でわからない。</p> <p>国費負担は、補助対象事業の 1/2 とあるが、その対象事業とはこの公園整備の全てをさすのかどうかもわからない。</p> <p>◎環境への配慮</p> <p>虚偽ばかり書いてあるようにしか思えない。こんなことをして、環境も未来もない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬谷市民の森から続く森林以外はすべて伐採し、地形も全変更なのに、「樹木と地形を活用」するとは、具体的に何をさすのかわからない。 ・生息地を奪われた生物は代替地も用意されないのに、数年後に「生物の生息生育環境の保全・創出」されても意味があるわけがない。 ・相沢川も切り回して暗渠、和泉川・相沢川の周辺の湧水は保護もせず放置するのに、「流域を踏まえた水循環」とは何を指すのかわからない。 ・まだ元気な桜を全部伐採し、新しい「桜の名所」。またそれが人間の都合で邪魔になれば容赦なく伐採するつもりなのか。 	<p>れた自然をいかした緑豊かな公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。生物の生息生育環境の保全・創出や相沢川・和泉川については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p> <p>海軍道路の桜並木に関するご意見については、関係部署と共有するとともに、公園が新たな桜の名所となるよう引き続き検討していきます。</p>
26	<p>まず園芸博には反対である。理由はそのずさんな計画と、財政難の横浜市がお金をかけてやるべきものではないこと。集客人数の根拠も全くないのに、博覧会を強行するために無理に動いている。建築都市整備道路委員会や温暖化対策環境創造資源循環委員会を見ているも、懸念事項を具体的に言及しているのは井上さくら市議会議員のみで、それ以外の議員や平原副市長などは「なにがなんでも花博を成功させる」しか言わない。赤字になることは火を見るよりも明らかなのに、それを無視したまま花博を推し進めようとする姿勢には不信感しかありません。</p>	<p>国際園芸博覧会に関するご意見については、2027 国際園芸博覧会協会に情報提供します。</p> <p>海軍道路の桜並木に関するご意見については、関係部署と共有するとともに、公園が新たな桜の名所となるよう引き続き検討していきます。</p>

	<p>また、横浜市はみどり税なるものを徴収しているくせに、上瀬谷の自然豊かな環境を破壊し、桜並木も国際園芸博覧会の会場の邪魔になるからと伐採する計画を立てているのは本当に許せない。とにかく 2027 年の国際園芸博覧会を早く中止せよ。</p>	
27	<p>用地費 133億円 事業費 355億円 これだけのお金をかける価値がありますか？ 横浜市は財政が厳しいと聞いています。資金はどこから調達しますか？銀行からの借金ですか？出所がわからないとなんとも言えません。 知っている市民は少なく情報も乏しくこれで公共事業評価制度に基づく市民意見募集をしたと言われても困る。二次整備が終わるのが24年。なぜこんなに時間がかかるのか？ 私が住んでいる港北区から瀬谷区は遠い。まずこの公園を利用することはない。2本の川を切り回しすることによって上瀬谷の基調で多様な生態系に影響はでると聞いています。</p>	<p>(仮称)旧上瀬谷通信施設公園整備事業は、旧上瀬谷通信施設に、広域公園を整備するもので、郊外部の新たな活性化拠点として、豊かな自然をいかしたレクリエーション空間などの人が集い、交流する場を創出するとともに、園芸博のレガシーを継承する拠点を形成し、大規模災害発生時における広域的な応援活動の拠点等を形成することを目的として実施するものです。</p> <p>財源については、市費及び国費ですが、引き続き、関連事業と連携した効果的な整備を進めるとともに、公民連携手法を積極的に取り入れ、民間活力の導入するなど、事業費の縮減に努めます。</p> <p>本公園は大規模な公園であるため、整備に時間を要しますが、整備が完了したところから、順次、供用を開始していく考えです。早期に市民の皆様にご利用いただけるよう、整備計画を具体化する中で検討していきます。</p> <p>河川の切り回しに関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>
28	<p>公園は、現にある自然を全改変せずに、そのまま生かして自然公園として下さい。花をわざわざ寄せ植えて、枯れたら引っこ抜くというような花の命を蔑ろにするようなことはしないで下さい。花博は自然のままで自然公園として、バーチャルで山下ふ頭やみなとみらいでやってください。</p>	<p>上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を</p>

		<p>基調とした公園として整備する方針です。現況の自然環境の保全については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p> <p>国際園芸博覧会に関するご意見については、2027国際園芸博覧会協会に情報提供します。</p>
29	<p>※希少な種の保護の観点から、以下のとおりご意見を要約しました。</p> <p>希少な種の保護のために、公園内の草地を残してほしい。生物の移動に障害となるような道路をつくらないでほしい。</p>	<p>上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とするため、既存の樹木や地形、表土の活用など自然環境をいかした施設整備や、相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息生育環境の保全・創出などに取り組み、上瀬谷の水と緑を基調とした公園として整備する方針です。生物の生息生育環境の保全・創出については、今後、環境影響評価の手続き等を進めていくとともに、いただいたご意見も踏まえながら、具体的な内容について検討していきます。</p> <p>道路計画に関するご意見については、関係部署に情報提供します。</p>
30	<p>まず、旧上瀬谷通信施設跡地は、「242 ㉒もの広大な土地であり」（調書 5p）草地や里山の風景が残る市民にとって「大変貴重な空間」ととらえていることに共感を覚えます。また、事業の必要性を評価する際に、市内の緑の10大拠点として上瀬谷地区が指定されていることに注目し、「貴重な広がりのある緑の空間や河川沿いの緑地からなる緑の拠点を保全・活用することが求められている」との認識も環境を所管している局としての矜持を感じます。</p> <p>さらに、事業効果の定性的評価につい</p>	<p>いただいたご意見については、計画に対するご期待と捉え、着実に公園整備を進めていきます。</p> <p>国有地の取得については、事業費の平準化等も含め財務省と協議を進めるとともに、国費導入により、できる限り市費負担を抑制できるよう進めていきます。</p> <p>また、公園整備にあたっては、土地区画整理事業や国際園芸博覧会の会場整備と連携した効果的な整備を進め、事業費の縮減に努めます。引き続き、国への要望を行い、積極的な国費の導入に取り組んでいきます。</p>

て冒頭に「上瀬谷の『緑』と『水』を基調とした公園」と示し「上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな場となります」と、謳われたこと。2番目に「グリーンインフラの展開と緑の多面的機能の発信」、4番目に「『農』と持続可能なライフスタイルの融合」、6番目に「四季を通じて楽しみながら自然と触れ合う心地よさや喜びを感じられる公園」と事業の効果として示したことは、多くの市民の声を真摯に受け止めた結果と認識しております。また、環境への配慮として「既存の樹木や地形、表土の活用などに考慮した施設整備に取り組む」、「相沢川の谷戸地形や和泉川の源頭部の環境をいかした生物の生息環境の保全・創出に取り組む」としていることについても市民は歓迎するはずです。

私たちが最も憂慮するのは、総事業費が巨額となることです。今回は、総事業費も示され、計画の総事業費 555 億円のうち、用地費に 200 億円、整備費に 355 億円を充てるとしています。総面積 65 ㍍はすべて国有地であり、その 1/3 を有償で取得するために 200 億円を要します。そのうち、市費負担は約 133 億円です。この縮減に市として次に述べる方向で総力をあげることを求めます。

1) 国有地の取得について国は「返還財産の性分条件」に基づき、2/3 が無償貸付け、1/3 が時価売払いをルールとしています。環境創造局は 200 億円を投じて 65 ㍍の 1/3 約 21 ㍍の土地取得にあたり、土地造成後の地価予定額を時価として、 m^2 当たり 10 万円弱としています。一

方、都市整備局は同跡地の現時点の地価について「本地区の地価は 12,000 円/㎡ ～ 50,000 円/㎡程度であり、地価の平均は約 32,800 円/㎡となっている」（旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業計画 3 p）としています。土地集約の手続きをスムーズにすすめ、現況のもとでの土地取得となれば、平均地価 32,800 円がほぼ時価となります。その結果、国からの土地取得費は 3/1 となります。関係局と連携をとり、その実現にむけた取り組みに全力をあげてください。

2) 国が拠り所にする「返還財産の処分条件」は、1979 年 12 月 24 日に大蔵省理財局長から各財務局長、沖縄総合事務局長宛に発出されたものです。省令であり、法律でないことから国の裁量が働くことが可能と思います。

3) 米軍基地として長年にわたり接収され、迷惑を被ったのは、地権者のみならず、他ならぬ横浜市自身もですから、国に対して「返還財産の処分条件」に拘泥しない柔軟な対応をするよう強く働きかけることを求めます。

4) 整備費についても、縮減努力を惜しまないでいただきたい。花博の会場設営において、公園として継続して使用することに留意するよう都市整備局と花博協会に強く働きかけてください。

5) 大規模災害発生時における広域的な応援・受援活動の拠点を形成することから国に対して国家的事業並みの位置づけと特段の補助金交付要請をお願いします。

	以上	
--	----	--